

本書の特色

この本は、中学3年生の夏休みまでの学習内容を中心に構成されたテキストです。

各課とも、最初の2ページのポイントと例題で重要な内容をおさえ、次の2ページの演習問題で実力を定着させる…という流れになっています。また、語句・文法も読解問題と並行して学習できます。一課に一枚の別冊確認テストがついています。各課の理解度チェックに役立ててください。

講習準備テストを使用することで、講習を受ける前の実力をチェックすることができます。最後には、総合確認テストで学習の成果を確認しましょう。

本書の使い方

● **ポイント・例題**……その課で学習する内容と基本的な問題を取りあげています。

● **演習問題**……ポイント・例題で学習した内容をもう一度確かめるための演習問題です。「思考力問題」には◎をつけています。

● **語句・文法問題**……読解問題が一課終わったら、語句・文法問題も一回分取り組むようにしましょう。

● **総合問題**……本書の総まとめの問題になっています。

もくじ

国語中3

1	説明的文章(1)	2
2	説明的文章(2)	6
3	説明的文章(3)	10
4	説明的文章(4)	14
5	小説文(1)	18
6	小説文(2)	22
7	随筆文	26
8	古典(1)	30
9	古典(2)	34
10	詩歌	38
11	情報	42
12	作文	46
《語句・文法問題》		
1	部首・漢字の音訓 / 2 筆順・画数・書写	50
3	熟語の構成 / 4 同音異義・同訓異字	51
5	類義語・対義語 / 6 三字熟語・四字熟語	52
7	ことわざ・慣用句・故事成語 / 8 敬語	53
9	文節の関係 / 10 品詞	54
11	活用 / 12 まぎらわしい語の識別	55
総合問題(1)～(3)		
付録		
62		62
56		56

ポイント

1 さまざまな資料の特徴や内容を読み取る

- (1) どのような資料を使っているかをとらえる。
 - ・表・グラフ・ポスター・新聞・イラスト・写真・地図
 - ・スピーチ原稿・案内文・実用文（説明書・規約・メモなど）
 ※複数の資料を組み合わせて提示される問題が多い。
- (2) 資料の特徴と内容を読み取る。
 - ① スピーチ原稿：構成（序論↓本論↓結論）に注意し、テーマや話し方の工夫をとらえる。
 - ② ポスター：見出し、タイトル、標語、図などから内容を押さえる。
 - ③ 新聞：内容の重要度は 見出し↓リード文（要約文）↓本文 の順。
 - ・要点は見出しやリード文から、詳細な情報は本文から読み取る。
 - ・挿入されている図表、写真、デザインから編集の意図を読み取る。
 - ④ 案内文：案内の対象に対して、情報がわかりやすく整理されているかに注意して読み取る。
 - ⑤ 実用文：全体を見渡し、目的に沿った情報が書かれているかをつかむ。

例

・幅広い年齢の人が読むので、ふりがなを付けている。

・強調したいところは太字。

○○公園の利用方法

ルールを守り、だれもがきもちよく使えるようにしましょう！

■利用案内■

- ・施設ごとのルールを確認してください。
- ・野球場とテニスコートの使用は申し込みが必要です。

■お願い■

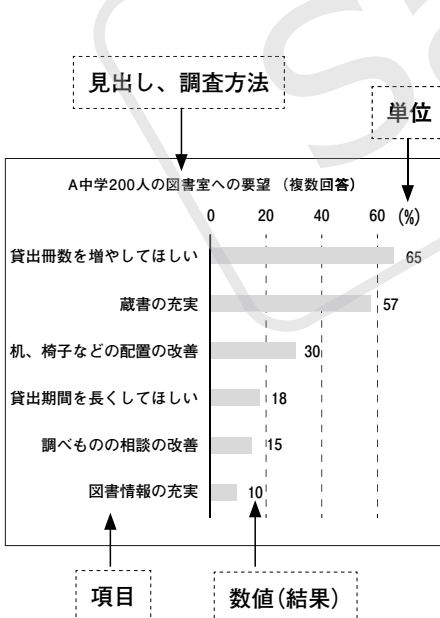
- ・ごみはごみ箱に捨てるか、持ち帰ってください。
- ・火気の使用は禁止です。

・項目に分けての説明。

・箇条書きで整理している。

2 表・グラフの特徴や内容を読み取る

- (1) 表・グラフの特徴を押さえる。
 - ・見出し：調査内容や対象を押さえる。
 - ・項目：調査の具体的な結果を捉える。
 - ・数値：項目の数値の大小の比較、時間的推移
 - ・グラフの種類に応じた着目点
- (2) 表・グラフの内容を読み取る。
 - 円グラフ・帯グラフ：構成比率
 - 折れ線グラフ：数量の時間的推移
 - 棒グラフ：数量の比較や順位



部分に注目しているのかを考え、適切な情報を読み取る必要がある。

例 文章 図書室は、貸出冊数を増やすべきだと思ふ。「貸出冊数を増やしてほしい」という要望が最も多く、その数値も65%と高くなっているからだ。↑グラフで最も高い項目に注目して意見を述べている。

【発表原稿の下書き】

登校時間の駐輪場の混雑解消について

生徒会では、学校生活をよりよいものにする取り組みとして、先日駐輪場の使用について困っていることをアンケート形式で調査しました。資料Ⅰはその結果を示しています。ここから、ことがわかります。つまり、登校時間の混雑がいちばん問題視されているのがわかります。

具体的にどのようなことに困っているか、調査時に意見を書いてももらったところ、こと、また、自転車や体がぶつかる危険があることなどがわかりました。

そこで、この問題を解決する方法を考えました。それは、一人一人がもう少し早く登校して登校時間をずらすよう心がけることです。資料Ⅰを見ると、下校時間の混雑を訴える人は39%にとどまっていることがわかります。これは、部活動の有無や各部活動の終了時間がずれることなどで、下校時間が分散されるためです。多くの部活が終わる午後6時頃はやや混雑するようですが、登校時間も分散されれば、混雑も緩和されるかもしれません。しかし、下校時間が午後3時半～6時であるのに対し、登校時間は午前7時40分～8時20分に集中しているため、ずらすのにも限界があります。

そこで、最もよい方法は、要望として出ているように、駐輪場を増やすことだと考えました。現在は西側入口横のみですが、東側入口にも駐輪場を設置するよう、学校に提案することを考えています。みなさんの意見を聞かせてください。

【資料Ⅰ】

駐輪場の使用について困っていること

(複数回答可)

A	登校時間に混雑している	82%
B	整頓 <small>せいとん</small> されていない(列の乱れ、場所を守っていない等)	51%
C	下校時間に混雑している	39%
D	駐輪スペースが不足している	25%
E	ごみ等で駐輪場が汚れている	18%
F	その他	5%

【資料Ⅱ】

「登校時間に混雑している」について出た意見・要望

- ・登校時間が早いときは混雑していないが、午前8時を過ぎると一気に混雑する。
- ・混み合っていて、自転車や体がとなりとぶつかりそうになる。
- ・駐輪場をいくつか増やしてほしい。

ある中学校の生徒会では、駐輪場の使用について、全校生徒の前で発表することになりました。次は、その際に作成した【資料Ⅰ】【資料Ⅱ】と【発表原稿の下書き】です。これを読んであとの問いに答えなさい。

例題

- (1) 次は、生徒会が調査で出た意見や要望をまとめたものです。□にあてはまる項目を【資料Ⅰ】のB～Eから一つ選び、記号で答えなさい。

□(2) 「」について出た意見・要望

- ・自転車を駐輪場の奥まで入れない人や駐輪場の外にとめる人がいるため周辺の通路が狭くなり、混雑をよりひどくしている。
- ・生徒会や風紀委員会が駐輪場を見まわって、注意してほしい。

- (3) 【発表原稿の下書き】のにあてはまる言葉を、【資料Ⅰ】をもとに数字を示して具体的に書きなさい。

- (4) 【発表原稿の下書き】のにあてはまる言葉を十五字以上二十字以内で書きなさい。

□(4) 次は、【資料Ⅰ】【資料Ⅱ】と【発表原稿の下書き】についての話し合いで出た感想、意見、修正案です。適切なものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 発表原稿を読むとき、はじめは【資料Ⅰ】のAに注目してもらおうよう呼びかけ、途中でCにも注目してもらおうようするとよい。

イ 発表原稿の中で、生徒会の意見を提示するときには、【資料Ⅰ】のA、B、Cの結果に注目してもらおうようするとよい。

ウ 意見と要望に取り上げられている要望をもとに発表するので、意見と要望は明確にわかるような資料にしたほうがよい。

エ 【資料Ⅰ】は折れ線グラフを使って数値の大小を示すと、登校時間の混雑の解消を望む人が多いことをよくわかってもらえる。

オ 登校時間帯と下校時間帯を示す表、また、現在の駐輪場と提案する駐輪場の位置を示す地図を用意すると、説明内容がわかりやすくなる。

ある中学校では、学習発表会で「プラスチックごみ問題」について発表することになり、グループで話し合いを行っています。次の【資料】と【話し合い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

〈パンフレット〉

プラスチックごみ問題

- ・プラスチックを作るための化石燃料には限りがある。
- ・包装容器など、使い捨てられるものが多い。
- ・同じ種類のプラスチックを大量にきれいな状態で回収することは難しくリサイクルがしにくい。ペットボトルのリサイクル率は8割を超えている。
- ・燃やすと地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生する。
- ・環境の中で自然に分解されることなくたまり続けてしまう。
- ・街中に放置されたプラスチックごみは、風雨で河川に入り、海に流れ出た結果、「海洋プラスチック問題」の原因の一つとなっている。

〈表〉

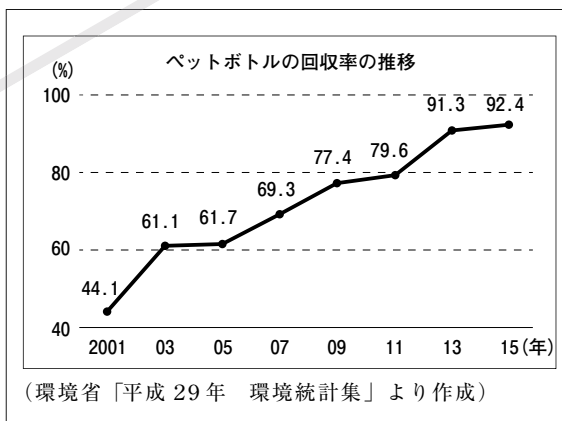
プラスチックごみ問題を悪化させないために、今後どのようなことに取り組んでいきたいと思うか

マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない	56.3%
ポイ捨て・不法投棄はしない	53.1%
ルールに従って、ごみを正しく分別する	52.2%
できる限り使い捨てのスプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズを受け取らない	41.1%
マイボトルを持参するなど、使い捨ての飲料容器（ペットボトルなど）をできる限り使用しない	38.0%
リサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ	32.3%
路上などに落ちているごみを積極的に拾う	24.5%
街中や海岸で行われる清掃活動に積極的に参加する	18.2%

（内閣府「令和元年度 環境問題に関する世論調査」より作成）

※令和2年7月よりレジ袋有料が義務化。

〈グラフ〉



※回収率 = (市町村分別収集量 + 事業系回収量) ÷ ペットボトル販売量

【話し合い】

（内田）「プラスチックごみ問題」については、〈パンフレット〉にまとめられています。今日はそれをもとに、ごみ問題の現状についてほり下げて考えていきます。解決していくためには、プラスチックをリサイクルしてごみを減らすことが大切であることがわかりましたが、「分別回収」の現状はどうでしょうか。

（木村）〈グラフ〉は、代表的プラスチックごみであるペットボトルの回収率です。二〇一五年は約92%となっています。この二十年で指定された方法で分別して捨てるようになってきているのではないのでしょうか。それは、推移を見ると、Aとわかるからです。

（内田）ペットボトルの回収率は良い傾向にあるようです。分別回収については、一九九七年に容器包装リサイクル法が施行され、意識が高まったといわれています。ただ、現状は、プラスチックごみは減らず、海洋プラスチック問題は深刻になっています。〈表〉は、今後どうすべきかを調査した結果です。みなさんは、どう思いますか。

（草野）はい。Bという意見が最も多く、半数を超えています。これは

令和元年度の調査ですが、令和二年にレジ袋は有料が義務となったので、意識はさらに高まっているように思います。また、**C** という意見の二つの項目の割合もそれぞれ半数を超えていますね。
 (木村) 僕は、〈表〉の街中や海岸での清掃活動に関心のある人が二割程度なのが気になります。〈パンフレット〉に、街中のごみが、海洋プラスチック問題の原因になっているとあるので、自分も清掃活動に参加しようと思っています。(後略)

□(1) **A** にあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 二〇〇一年と二〇一三年を比べると、一・五倍の数値になっている、二〇一三年と二〇一五年はほぼ横ばいである
- イ 二〇〇一年から二〇〇三年を比べると、約20%増加しているが、二〇〇五年以降はほぼ数値が変わらない
- ウ 二〇〇一年と二〇〇九年を比べると約20%増加し、二〇〇九年と二〇一五年を比べると多くと多く、約40%増加している
- エ 二〇〇一年と二〇一一年を比べると約35%増加し、二〇一一年と二〇一五年を比べると約12%増加している

漢字のトレーニング

□① 河川が氾濫する。	□⑥ 大さじ一杯のサトウ。
□② その判断は妥当だと思う。	□⑦ 渡り鳥のムレ。
□③ 高慢な言動を戒める。	□⑧ 複数のコウホをあげる。
□④ 柵を隔てる。	□⑨ 仏像をオガむ。
□⑤ 矛盾した話。	□⑩ コシヨウの原因を探る。
□⑪ ウチユウ飛行士になる。	□⑫ シュクシャに泊まる。
□⑬ ココロヨク受け入れる。	□⑭ 努力がトロウに終わる。
□⑮ 友人に本をカす。	

□(2) **B**・**C** にあてはまる項目を、それぞれすべて書き抜きなさい。

□(3) **【資料】と【話し合い】**の内容を正確に読み取ったうえで発言された意見として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 容器包装リサイクル法が施行されてから四年経ったところにペットボトルの回収率は半数を上回るようになったのですね。

イ ペットボトルのリサイクル率が高いのは、分別回収が進んでいるからで、それが海洋プラスチック問題の改善にもつながっています。

ウ 使い捨て容器を使わないようにするという意見が約四割あるので、この意識が高まればペットボトルの使用も減るかもしれません。

エ 植物を原料としたプラスチックを使用した人が四割を超えているので、新素材の商品が増えれば、化石燃料の節約につながると思います。